

陳 情 文 書 表 (令和4年9月8日定例会提出)

陳情第18号

奈良市が県域水道一元化に参加しないことを求める陳情書

令和4年8月8日受理

陳情者



南紀寺町三丁目第一自治会会長

清 水 恭太郎

(陳情趣旨)

これまでの一本化の協議の経過を見ても、また奈良市主催の懇談会においても、何のメリットもないことがはっきりしてきました。県域水道一元化に参加しないことを求めます。

(理由)

1. この一体化において、水道料金が5年に一度上がることを聞きました。また、値上がりも市議会で討論するのではなく、企業団会議で決定され、市民の意見が届きにくい。(後期高齢者医療制度がよい見本です。)
2. 国は水道法を改悪してまで一体化にしたいのはなぜかを考えてほしいです。将来的に国民から税金(40年ほど前には消費税がなかったけれども、福祉のためと言いながら、福祉は削減してきたように)は取るが、それを国民に使いたくないための方策ではないかと思われまます。
3. 県域水道一元化によって木津浄水場を廃止し、緑ヶ丘浄水場1か所にすると聞きました。安全で安価な水道を確保するためには、災害等を考えれば保存管理が必要と考えます。
4. 懇談会の討論の中でも、誰も一本化に賛成していません。

以上、陳情します。